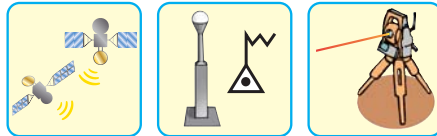
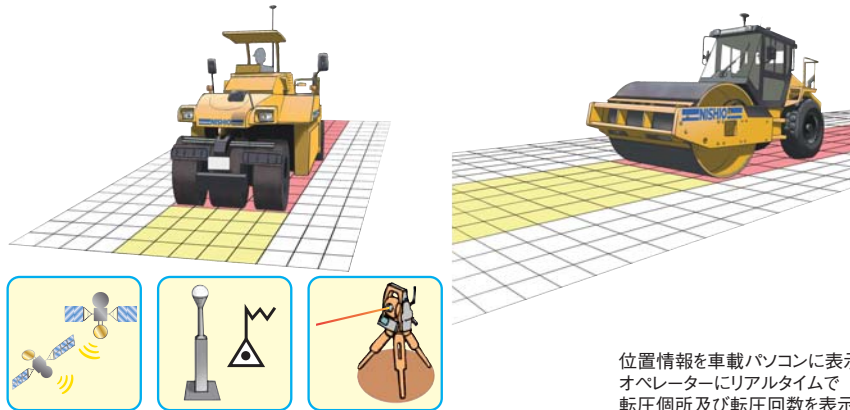


転圧締固め管理

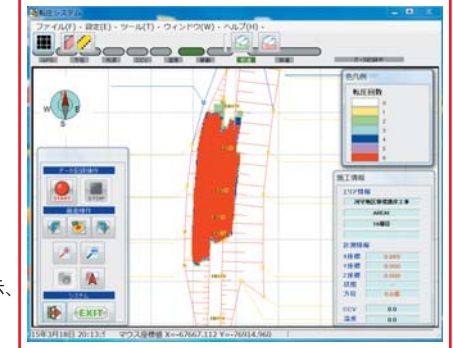
GNSS・自動追尾転圧締固め管理システム



NETIS
KT-010187-V

NISHIO
オリジナル

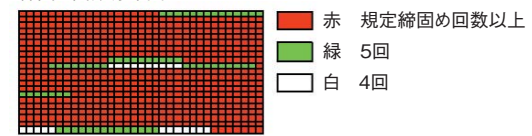
◆車載モニター



位置情報を車載パソコンに表示、オペレーターにリアルタイムで転圧個所及び転圧回数を表示



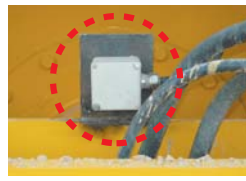
締固め回数分布図



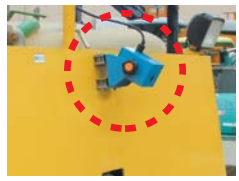
◆システムの特長

- リアルタイムにメッシュ毎の転圧回数を車載モニターに表示します。
 - * 盛土全面の締固め状況を把握出来ます。
- オペレーターの省技能化
 - * 習熟度に左右されずに品質の確保が可能です。
- 走行軌跡図・回数分布図を帳票出力が出来ます。
- オプションとして加速度計・放射温度計・安全くんの装着が可能です。
- システム全てをレンタルにてお使い頂けます。

◆オプション



〈加速度計〉・システムに加速度データを表示

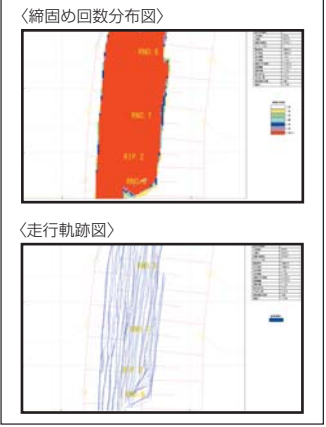


〈転圧名人〉・システムに温度データを表示



〈安全くん〉・モニターに危険検知を表示

◆出力帳票(例)

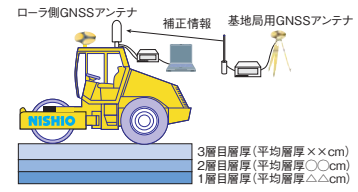


◆締固めレイヤー管理工法

NETIS
SK-140010-A

NISHIO
オリジナル

RTK-GNSSによる本工法及び帳票例

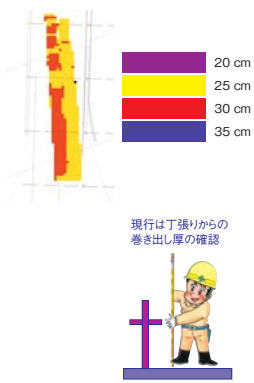


＜技術の概要＞

TS・GNSS等により締固め機械の位置座標、標高をリアルタイムに取得し盛土の層厚(巻き出し厚)、層数管理を行いながら同時に締め固め回数管理を行う技術です。
・国土交通省「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」(平成24年3月) 準拠

＜施工方法＞

	新技術	従来技術
①準備工	転圧回数管理が使用できる現場であるか確認する ↓ 試験施工を行い転圧回数を決定する 締固め機械の標高データを補正する為に2軸傾斜計を装着 巻き出し厚の確認の為、最少限の丁張り設置 層厚、層数を管理するため0層目を走行	管理断面毎に巻き出し用の丁張り設置
②施工	層毎に規定の回数を転圧し(過転圧に注意する) 規定の回数の色になれば次層への巻き出し、転圧を行う 帳票を自動作成する(走行軌跡図、締固め回数分布図、締固め層厚分布図、断面層数分布図) ☆現状では巻き出し厚の写真撮影も必要	規定の巻き出し後転圧 ↓ 100㎡毎にRi計測を行い、締固め度を確認。 巻き出し厚さは200mごとに写真にて記録 ↓ データを整理し、規定の締固め度の確認 ↓ 次層への巻き出し、転圧を行う



建設ICT

レンタカー

高所作業車・作業台・足場

照明機器

電材機器

荷役・運搬・揚重機械

道路舗装機械

安全・保安対策

土木機械

環境対策機器

コンプレッサー・エアツール

発電機・溶接機

各種ポンプ

コンクリート打設

配管機器

小型汎用機器・工具類

重量物運搬・揚重機械

環境クリーン機器

測量機・測定器・通信・映像

クレーン

テント・ハウス・備品

各種資料